

令和5年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	430	高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみをつくる
施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する
施策の目標	高齢期を迎えた区民が、就労をはじめ、地域活動や趣味、特技を活かしたボランティア活動等を通じて社会参加し、生きがいをもち、充実感のあるセカンドライフを過ごしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「生きがいがある」65歳以上の区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	72.0%				73.0%					75.0%
実績	71.1%				70.4%			56.6%		
指標名	シルバー人材センター就業率及び会員数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標							就業率：72.0% 会員数：1,538人	就業率：72.0% 会員数：1,542人	就業率：72.0% 会員数：1,546人	就業率：72.0% 会員数：1,550人
実績	就業率：73.5% 会員数：1,798人	就業率：73.9% 会員数：1,721人	就業率：67.5% 会員数：1,724人	就業率：69.5% 会員数：1,663人	就業率：70.4% 会員数：1,532人	就業率：69.3% 会員数：1,489人	就業率：69.4% 会員数：1,475人			

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>令和4年度墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、「生きがいがある」と回答した高齢者が56.6%であり、令和元年度の同調査結果(70.4%)から、13.8%減少している。令和4年度の調査はコロナ禍での調査という前提はあるが、「生きがいがある」高齢者数が減少していることがわかる。また、シルバー人材センターの会員数も年々減少していることがわかる。</p> <p>高齢者が生きがいを持ち、自分らしく社会参加できる場や活動を、コロナ禍以前の状態に戻すとともに、さらに拡充していくことが課題である。</p>	R2	379,478
	R3	375,729
	R4	399,991

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	既存の事業に加え、令和3年度から高齢者のデジタルデバインド解消事業も実施しており、多様な事業展開が高齢者の社会参加に対する選択肢を広げ、高齢者の生きがいづくりにつながっていることから、施策目標が一定程度達成されている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
コロナ禍以前の状況に戻せるように、既存の事業を見直し、改善を図っていく必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
「生きがい」を実感できるセカンドライフを実践できる事業を展開するとともに、高齢者が経験や知識を生かした「働き」ができる社会環境の整備に努める。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
				評価対象年度		
1	シルバー人材センター運営 助成	101,008	1,636	102,644	146,150	現状維持
					146,395	令和4年度
2	老人クラブ運営助成事業	46,625	4,089	50,714	54,300	現状維持
					32,348	令和4年度
3	高齢者ICT講習会実施経費	2,578	6,543	9,121	140	現状維持
					805	令和4年度
4	介護支援ボランティア・ポイ ント制度	341	1,636	1,977	215	改善・見直しのうえ継続
					37	令和4年度
5	にここ入浴デー事業費	90,655	3,272	93,927	195,709	改善・見直しのうえ継続
					213,957	令和4年度
6	元気高齢者施設「いきいき プラザ」管理運営費	50,120	1,636	51,756	70,000	現状維持
					35,351	令和4年度
7	高齢者福祉センター運営 経費	74,608	8,997	83,605	103,000	現状維持
					45,024	令和4年度
8	セカンドステージ支援事業	2,863	1,636	4,499	90	現状維持
					84.8	令和4年度
9	ふれあい給食事業助成	0	818	818	170	現状維持
					0	令和4年度
10	長寿者に対する祝金の贈 呈事業費	27,163	3,272	30,435	3,443	改善・見直しのうえ継続
					3,681	令和4年度
11	すこやか長寿夫婦表彰経 費	612	1,636	2,248	235	統合や縮小を検討
					153	令和4年度
12	長寿マッサージ事業	3,239	1,759	4,998	576	現状維持
					1,118	令和4年度
13	姉妹区提携交流ゲートボ ール大会	179	1,636	1,815	100	現状維持
					82	令和4年度

令和5年度 事務事業評価シート

施 策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事 業 名	シルバー人材センター補助事業費		1
目 的	公益社団法人墨田区シルバー人材センターに対し、補助金を交付することにより、事業運営を円滑にし、センターの充実と発展に寄与する。 なお、シルバー人材センターは、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを支援し、地域社会の活性化に寄与する団体である。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課支援係 03-5608-6168
対 象 者	60歳以上の区民(シルバー人材センター会員)		
根 拠 法 令	・ 高齢者等の雇用の安定等に関する法律 ・ 公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金交付要綱		
関 連 計 画	・ 墨田区福祉総合計画・第8期介護保険事業計画		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事 業 内 容	以下のとおり、補助金の交付を行う。 1 補助対象事業 (1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、調査・相談等 (2) 向島、緑両作業所の運営 2 補助対象経費 (1) 補助対象事業に係る職員人件費、管理運営費、事業費の一部 (2) 全国シルバー人材センター賛助会員会費		
経 過	開始年度	昭和56年度	終了予定
	昭和56年4月 補助金交付開始 平成29年4月 労働者派遣事業開始		
議 会 質 問 の 状 況	[平成30年決算特別委員会] センターの運営助成費について [平成31年1定] アクティブシニアの方々への施策について [平成31年1定] シルバー人材センターの活用について [令和4年3月] インボイス制度の対応について [令和4年決算特別委員会]インボイス制度におけるセンター会員への対応について		
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和4年度時点: 23区すべてが補助を実施している		

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		103,214	102,924	100,353	101,604	104,068	145,629
A.決算額（令和5年度は見込み）		98,461	98,127	100,353	96,724	101,008	145,629
財 源	国						
	都	13,484	13,891	12,660	13,368	14,995	14,995
	その他						
一般財源		84,977	84,236	87,693	83,356	86,013	130,634
執行率（％）		95.4%	95.3%	100.0%	95.2%	97.1%	100.0%
B.人コスト			1,311	1,764	1,759	1,636	
総事業決算額（A+B）		98,461	99,438	102,117	98,483	102,644	
予算書P（令和5年度）	P143-2	執行実績報告書P（令和4年度）			p79-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費	PCB廃棄物収集運搬	198	役務費	PCB廃棄物収集運搬	0	役務費	PCB廃棄物収集運搬	385
委託料	PCB廃棄物処分	672	委託料	低濃度PCB汚染物除去工事 設計委託料等	66	委託料	低濃度PCB汚染物分析、処分委託	2,183
						工事請負費	修繕、改修工事等	37,728
負担金補助及び交付金	補助金	95,853	負担金補助及び交付金	補助金	100,942	負担金補助及び交付金	補助金	105,333

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	シルバー人材センターの登録会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		1550	令和7年度	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	1,663
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,700	1,538	1,542	1,546	1,550
	実績	1,532	1,489	1,475				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	シルバー人材センターの登録会員数が、高齢者の就業につながる指標となるため。なお、高齢者の働き方の多様化により会員数の増加は難しいため、維持を目標とする。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	就業延べ日人員				単位	人
最終目標値		目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
146,150		令和7年度	目標	182,883	183,423	183,963	184,503	
			実績	184,477	165,479	168,169	163,624	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		185,000	167,331	146,150	146,150	146,150	146,150	
実績	148,802	146,150	146,395					
指標の選定理由及び目標値の理由								
シルバー人材センター会員の就業状況を表す数値であり、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを示す指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。新型コロナウイルス感染症の影響等により会員が微減であるが、就業延べ日人員は増加していることから、今後もシルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく。

課題・問題点
高齢者の働き方の多様化及び新型コロナウイルス感染症の影響などにより、会員数が減少傾向にあるため、引続き退会会員の抑制及び新規会員の増加を目指していく。 令和5年10月からインボイス制度が導入されることに伴い、新たな財政負担が及ぼす影響が懸念されるため、シルバー人材センターと対応を検討していく必要がある。

補助金名称	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金			主管課・係（担当）		
根拠法令	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金交付要綱			高齢者福祉課支援係		
補助概要	公益社団法人墨田区シルバー人材センターの運営費を一部補助する。			5608-6168		
目的	公益社団法人墨田区シルバー人材センターに対し、補助金を交付することにより、事業運営を円滑にし、センターの充実と発展に寄与する。なお、シルバー人材センターは、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを支援し、地域社会の活性化に寄与する団体である。					
対象	公益社団法人墨田区シルバー人材センター					
基準	区独自基準					
補助条件	高齢者の就業に関する情報の収集及び提供事業、調査研究事業及び相談事業等を補助対象事業とし、当該事業に係る職員人件費、管理運営費、事業費の一部を補助する。 補助金の交付に当たり、補助金交付申請書、事業計画書及び収支予算書の提出が必要である。					
経過	開始年度	昭和56年度		終了予定		
	昭和56年4月 補助金交付開始 平成29年4月 労働者派遣事業開始					
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] センターの運営助成費について [平成31年1定] アクティブシニアの方々への施策について [平成31年1定] シルバー人材センターの活用について [令和2年7月] シルバー人材センター会員の収入の確保について [令和4年3月] インボイス制度の対応について [令和4年決算特別委員会]インボイス制度におけるセンター会員への対応について					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 23区すべてが補助を実施している					

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		103,214	102,924	100,353	101,604	104,068	145,629
決算額（令和5年度は見込み）		98,461	98,127	100,353	96,724	101,008	145,629
財源	国						
	都	13,484	13,891	12,660	13,368	14,995	14,995
	その他						
一般財源		84,977	84,236	87,693	83,356	86,013	130,634
執行率（％）		95.4%	95.3%	100.0%	95.2%	97.1%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	会員数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,550	令和7年度	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	1,663
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,700	1,538	1,542	1,546	1,550
		実績	1,532	1,489	1,475			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	高齢者の働き方の多様化により会員数の増加は難しいことから、会員数の維持を目標とする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	就業延べ日人員				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		146,150	令和7年度	目標	182,883	183,423	183,963	184,503
				実績	184,477	165,479	168,169	163,624
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		185,000	167,331	146,150	146,150	146,150	146,150	
実績		148,802	146,150	146,395				
指標の選定理由及び目標値の理由								
会員の就業状況を表す数値であるため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。新型コロナウイルス感染症の影響等により会員が微減であるが、就業延べ日人員は増加していることから、今後もシルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく。

課題・問題点
<p>高齢者の働き方の多様化及び新型コロナウイルス感染症の影響などにより、会員数が減少傾向にあるため、引続き退会会員の抑制及び新規会員の増加を目指していく。</p> <p>令和5年10月からインボイス制度が導入されることに伴い、新たな財政負担が及ぼす影響が懸念されるため、引続きセンターを中心に対応を検討していく必要がある。</p>

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	老人クラブ運営助成事業		2
目的	墨田区内の老人クラブの活動に対して、その運営を助成し、老人福祉の増進に資する。 また、墨田区老人クラブ連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、各老人クラブの活動を側面から支援する。		主管課・係(担当)
			高齢者福祉課支援係
			03-5608-6168
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ設立後継続して3か月以上活動しているクラブ ・ 墨田区老人クラブ連合会 		
根拠法令	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区老人クラブ助成要綱 ・ 墨田区老人クラブ連合会助成要綱 		
関連計画	墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤2
事業内容	<p>各クラブに対しては、次の活動における諸経費を助成対象としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会奉仕活動: 公園・町内・道路等の清掃活動等 ・ 健康をすすめる活動: スポーツの練習等 ・ 生きがいを高める活動: 演芸大会等 ・ 特別事業活動: 多世代等との交流事業等 <p>また、墨田区老人クラブ連合会に対しては次の事業への経費を助成対象としている。</p> <p>高齢者福祉大会 会報発行 ゲートボール大会 運営助成 平和のかたりべ事業 高齢者の生きがいと健康づくり事業 健康教室事業</p>		
経過	開始年度	昭和40年度	終了予定
	<p>[昭和40年度] 助成開始(各老人クラブ)</p> <p>[昭和46年度] 助成開始(墨田区老人クラブ連合会)</p> <p>[平成3年度] 老人クラブ助成要綱改正(交付時期2回 1回、助成額各ランク1,000円増)</p> <p>[平成12年度] 老人クラブ助成要綱改正(助成月額10%減額、特別事業費24,000円 21,600円)</p> <p>[平成30年度] 老人クラブ助成要綱改正(特別事業費を廃止し、助成金に上乗せ 助成額各ランク1,800円増)</p>		
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて		
その他特記事項	令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を一部中止した。		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		48,362	48,089	48,908	48,406	47,830	46,834
A.決算額(令和5年度は見込み)		48,094	47,817	48,031	47,149	46,625	46,834
財源	国						
	都	5,225	5,144	5,130	5,010	4,935	4,936
	その他				5,042	1,990	1
一般財源		42,869	42,673	42,901	37,097	39,700	41,897
執行率(%)		99.4%	99.4%	98.2%	97.4%	97.5%	100.0%
B.人コスト			4,369	4,411	4,411	4,089	
総事業決算額(A+B)		48,094	52,186	52,442	51,560	50,714	
予算書P(令和5年度)	p143-1	執行実績報告書P(令和4年度)			p79-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費	郵送料	31	役務費	郵送料	42	役務費	郵送料	41
負担金補助及び交付金	単位クラブ及び連合会への補助金	47,119	負担金補助及び交付金	単位クラブ及び連合会への補助金	46,583	負担金補助及び交付金	単位クラブ及び連合会への補助金	46,793

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	老人クラブ補助金交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		150	R7	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	148
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150	150	150	150	150	150
	実績	147	144	143				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	老人クラブ活動回数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		54,600	R7	目標	53,800	53,800	53,900	54,000
				実績	53,791	62,507	57,994	49,245
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	54,600
実績	25,877	28,965	32,348					
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動回数が増加することは、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	老人クラブでの活動は、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動(高齢者の見守り)等での活躍が期待される。このことから、各クラブに対する助成金の交付を継続して実施する。墨田区老人クラブ連合会は、各老人クラブの活動を支えている組織であり、各単位老人クラブ同様助成金交付を継続して実施する。

課題・問題点
老人クラブ及び加入者の減少傾向及び高齢化が進んでいる。高齢者の健康づくり、生きがいづくり等における重要なコミュニティであるため、高齢者ICT講習会等事業などを活用しながら、活性化を図る必要がある。

補助金名	老人クラブ連合会助成金		主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区老人クラブ連合会助成要綱		高齢者福祉課支援係	
補助概要	墨田区老人クラブ連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、各老人クラブの活動を側面から支援する。		03-5608-6168	
目的	連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより老人福祉の増進に資する。			
対象	墨田区老人クラブ連合会			
基準	区独自基準			
補助条件	助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要である。			
経過	開始年度	昭和46年度	終了予定	
	[昭和46年度] 助成開始			
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて			
その他特記事項	令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業の一部を中止した。			

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		12,260	12,599	13,100	13,128	13,228	12,909
決算額（令和5年度は見込み）		12,233	12,554	12,977	6,564	13,210	12,909
財源	国						
	都	934	911	897	866	846	847
	その他				2,037	233	
一般財源		11,299	11,643	12,080	3,661	12,131	12,062
執行率（％）		99.8%	99.6%	99.1%	50.0%	99.9%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	墨老連関係事業数				単 位	事業
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		95	R7	目標	95	95	95	95
				実績	93	93	93	82
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	95	95	95	95	95	95
		実績	15	30	70			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区老人クラブ連合会主催の事業数が増加することは、各老人クラブの活動を側面から支援したことにつながるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	連合会関係事業参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		20,000	R7	目標	22,000	22,000	22,000	20,000
				実績	21,639	20,823	18,842	19,143
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
実績		1,438	2,669	3,383				
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加者数の増加は、多くの高齢者の生きがいにつながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨田区老人クラブ連合会は、軽スポーツ大会、文化的活動、研修会や旅行などの様々な事業を主催し、高齢者の活躍の場の創出、閉じこもり防止に寄与している。墨田区老人クラブ連合会が各老人クラブの活動を支えており、今後も助成金事業を継続して実施する。

課題・問題点
老人クラブ及び加入者の減少傾向及び高齢化が進んでいる。区と墨老連で連携を図りながら、加入者の増加につながるような事業を構築していく必要がある。

補助金名称	老人クラブ助成金		主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区老人クラブ助成要綱		高齢者福祉課支援係
補助概要	老人クラブ活動（社会奉仕活動、友愛活動、健康をすすめる活動、生きがいを高める活動）の経費に対し補助する。		03-5608-6168
目的	墨田区内の老人クラブの活動に対して、その運営を助成し、老人福祉の増進に資する。		
対象	区内老人クラブ		
基準	区独自基準		
補助条件	<ul style="list-style-type: none"> ・「墨田区老人クラブ運営基準」に準拠して運営される老人クラブで、設立後継続して3カ月以上活動を続けているもの ・助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要である。 		
経過	開始年度	昭和40年度	終了予定
	昭和40年度 助成実施 平成3年度 老人クラブ助成要綱改正（交付時期2回1回、助成額各ランク1,000円増） 平成12年度 老人クラブ助成要綱改正（助成月額10%減額、特別事業費24,000円21,600円） 平成30年度 老人クラブ助成要綱改正（特別事業費を廃止し、助成金に上乗せ 助成額各ランク1,800円増）		
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて		
その他特記事項			

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		36,060	36,578	35,766	35,237	34,560	33,884
決算額（令和5年度は見込み）		35,819	35,221	35,012	17,618	33,373	33,884
財源	国						
	都	4,291	4,233	4,233	4,144	4,089	4,089
	その他				3,005	233	1
一般財源		31,528	30,988	30,779	10,469	29,051	29,794
執行率（%）		99.3%	96.3%	97.9%	50.0%	96.6%	100.0%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	補助金交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		150	R7	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	148
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150	150	150	150	150	150
		実績	147	144	143			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	老人クラブ活動回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		54,600	R7	目標	53,800	53,800	53,900	54,000
				実績	53,791	62,507	57,994	49,245
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	54,600	
実績		25,877	28,965	32,348				
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動回数が増加することは、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	高齢者の老人クラブへの加入率は23区トップクラスである。老人クラブでの活動は、組織活動であり、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動（高齢者の見守り）等での活躍が期待される。このことから、今後も助成金事業を継続して実施する。

課題・問題点
・新規会員の入会が少なく、雇用期間の延長や、価値観の多様化等により、60歳になって老人クラブに入会する方が以前と比較して少ない傾向にあるため、老人クラブ会員数が減少傾向である。

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	高齢者ICT講習会実施経費		3
目的	都内で最大の組織率を誇る墨田区老人クラブを対象に、民間事業者、区内の大学等と連携してスマートフォン講習会・交流会を実施し、老人クラブの活性化や世代間交流を図りながら高齢者のデジタルデバйд解消を目指す。		主管課・係(担当)
			高齢者福祉課支援係 5608-6168
対象者	墨田区老人クラブ会員		
根拠法令 関連計画	墨田区基本計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤2・エーテンラボ株式会社
事業内容	<p>スマートフォン体験会・相談会(一般区民向け) 高齢者向けのスマートフォン体験会・相談会を毎月1回程度実施をする。 ○スマートフォン体験会(令和4年度 開催数:22回 参加人数:298名) ・内容 基本操作や地図アプリなどを学ぶ。スマートフォン未保持者に対しては1か月の貸出を行う。 ○スマートフォン相談会(令和4年度 開催数:31日 参加人数:411名) ・内容 スマートフォンの困りごとについて個別相談(1人30分)</p> <p>老人クラブ向けスマートフォン体験会(令和4年度 開催数:9回 参加人数:96名) ・内容 スマートフォンの利用を習慣化させ、基本操作の習得を目的に老人クラブの仲間同士で5人一組のチームとなり日常的にスマートフォンの交流ができる「みんなチャレ」アプリの体験会の実施をする。</p>		
経過	開始年度	令和3年度	終了予定
	令和3年度 モデル実施(対象:墨老連役員10名) 令和4年度 事業実施開始		
議会質問 の状況	[令和4年度] 9月議会 民間通信事業者の活用や各種団体との連携について 11月議会 高齢者デジタルデバйд対策事業、予算の拡大について 2月議会 高齢者のキャッシュレス決済の利用状況について		
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)				200	2,826	5,000
A.決算額(令和5年度は見込み)				115	2,578	5,000
財源	国					
	都			85	2,559	3,135
	その他					
一般財源	0	0	0	30	19	1,865
執行率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	57.5%	91.2%	100.0%
B.人コスト				880	6,543	
総事業決算額(A+B)	0	0	0	995	9,121	
予算書P(令和5年度)	P148-39		執行実績報告書P(令和4年度)		p85-38	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	ICT講習会講師謝礼	72	報償費	学生謝礼	173	報償費	学生謝礼	247
役務費	保険料	2	委託料	老人クラブ向けスマートフォン体験会	2,350	委託料	老人クラブ向けスマートフォン体験会	2,143
使用料及び賃借料	会場使用料	42	使用料及び賃借料	〔都事業〕会場使用料	55		スマートフォン相談会	2,063
						使用料及び賃借料	会場使用料	285
							スマートフォンリース	263

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	スマートフォン体験会・相談会等実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		110	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標		10	42	110	110	110
	実績		10	62				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	講習会の実施回数の把握は、スマートフォンでの交流や使用する機会の創出につながった指標となるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スマートフォン体験会・相談会等参加人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10,000	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標		10	140	1,000	3,500	10,000
実績		10	805					
指標の選定理由及び目標値の理由								
講習会の参加者の把握は、スマートフォンでの交流や使用する機会の創出につながった指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和7年度までの目標について、各指標実績は順調に推移している。今後もさらに高齢者が当事業に参加後、日常でスマートフォンを活用することができる事業内容に改善していく必要がある。また、高齢者個人が気軽にスマートフォンの相談をすることができる相談窓口を令和5年度以降さらに拡大していく。

課題・問題点
高齢者がスマートフォンを使えるようになるためには、操作指導のみではなく日常でスマートフォンを使う機会(目的・相手)の有無が大きく影響する。このため、「みんチャレ」アプリを使用したグループ活動やスマートフォン相談窓口を拡充することで、スマートフォンの使用機会を増やしていく。

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する			部内優先順位
事業名	介護支援ボランティア・ポイント制度				4
目的	高齢者自身の介護予防の推進と地域活動への参加促進を図るとともに、介護保険施設のサービス提供体制を支援する。				主管課・係(担当)
					介護保険課 管理・計画担当 03-5608-6924
対象者	介護サービスを受けていない、65歳以上の墨田区民				
根拠法令 関連計画	介護支援ボランティア・ポイント実施要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員1、会計年度職員1
事業内容	<p>介護保険法に規定する介護予防事業として、高齢者が介護保険施設でボランティア活動を行った場合にポイントを付与する制度である。</p> <p>高齢者自身の介護予防の推進と地域活動への参加促進を図るとともに、介護保険施設のサービス提供を支援している。</p> <p>1時間あたり1ポイント(1か月20ポイントまで)を付与する。1ポイント100円に換算した活動交付金(年度上限額20,000円まで)を交付する。</p>				
経過	開始年度	平成21年度		終了予定	
	<p>[平成21年度]事業開始</p> <p>[平成28年度]要綱改正・・・ポイント上限額を増額した。(10,000円から20,000円へ)</p>				
議会質問 の状況	<p>[平成27年3定]公明党から制度の充実を求める質問があった。</p> <p>[令和2年]決算特別委員会で立憲民主党墨田区議団から資料の提出要求を受けた。</p>				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)	2,237	1,857	1,769	1,507	1,409	1,186
A.決算額(令和5年度は見込み)	1,280	1,258	437	404	341	1,186
財源	国(負担割合25%相当)					
	都(負担割合12.5%相当)					
	その他(国・都分含む総額)	1,280	1,258	437	404	341
一般財源	0	0	0	0	0	0
執行率(%)	57.2%	67.7%	24.7%	26.8%	24.2%	100.0%
B.人コスト		2,621	1,410	2,316	1,636	
総事業決算額(A+B)	1,280	3,879	1,847	2,720	1,977	
予算書P(令和5年度)	P152 3-14		執行実績報告書P(令和4年度)		P.233-3	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	活動交付金	216	報償費	活動交付金	1,200	報償費	活動交付金	1,000
需用費	活動認証ゴム印等	23	需用費	活動認証ゴム印等	35	需用費	活動認証ゴム印等	35
役務費	保険料、郵便料金	166	役務費	保険料、郵便料金	174	役務費	保険料、郵便料金	151

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	受入施設数				単 位	施設
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		65	令和7年度	目 標	44	49	51	53
				実 績	47	49	52	60
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	55	57	59	61	63	65
	実 績	62	61	61				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	高齢者がボランティア活動を行うことができる施設の選択肢が増えることによって、より活発な活動を期待できるようになる。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	登録人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
224		令和7年度	目 標	200	200	203	206	
			実 績	195	196	183	175	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		209	212	215	218	221	224	
実 績	144	56	37					
指標の選定理由及び目標値の理由								
本制度に登録する高齢者の人数の推移により、事業の目的の達成の度合いを測ることができる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、令和2年度以降の登録者数が減少した。感染症の拡大状況を見極め、適切な時期に本事業のPR等を行い、登録人数を感染症拡大前の水準に戻す。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、施設のボランティア受入の停止やボランティア活動の自粛が見られ、登録者数が大きく減少した。

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する			部内優先順位
事業名	にこにこ入浴デー事業費				5
目的	区内に住む高齢者が、決められた日に無料または半額で入浴することにより、健康増進と、地域の住民や世代間の交流を図ることを目的とした事業である。				主管課・係(担当)
					高齢者福祉課・支援係
					03-5608-6168
対象者	65歳以上の高齢者				
根拠法令 関連計画	・ 墨田区高齢者にこにこ入浴デー事業実施要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画 第8期介護保険事業計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先:東京都公衆浴場業生活衛生同業組合墨田支部
事業内容	区内の公衆浴場を高齢者に無料または半額で開放する。 ・ 毎週木・金曜日のいずれか1日は無料 ・ 特定日(こどもの日、敬老の日、冬至の日)は、入浴証受給者並びにともに来場した家族はそれぞれの金額の半額 開店前の公衆浴場で催し物や講座等を実施し、高齢者とそれ以外の世代の交流を図る。				
経過	開始年度	昭和50年度		終了予定	
	昭和50年度 事業開始 平成6年度 こどもの日(菖蒲湯)・敬老の日・冬至の日(ゆず湯)を特定日とする。 平成14年度 開店前浴場解放事業の実施(湯処・語らい亭) 平成18年度 毎月25日をすみだ家庭の日として特定日に追加。 平成29年度 無料入浴デーを毎週金曜日から毎週木・金曜日のいずれか1日に変更。すみだ家庭の日の特定日を廃止。				
議会質問 の状況	[平成28年1定、4定、29年1定] にこにこ入浴実施日の拡大について [平成30年決算特別委員会] 公衆浴場の支援について [平成31年1定] 施策の有効性について [令和2年決算特別委員会] コロナ禍での感染防止対策等について [令和3年決算特別委員会、令和4年予算特別委員会] スキームの見直し等について [令和4年決算特別委員会、令和5年予算特別委員会] スキームの見直し等について				
その他 特記事項	令和4年度時点 23/23区で高齢者を対象とした入浴券配布等の事業を実施しているが、対象や費用負担の有無など事業内容は各区で異なる。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		90,444	86,829	79,608	84,795	92,288	95,792
A.決算額(令和5年度は見込み)		88,112	79,948	73,118	82,771	90,655	95,792
財源	国						
	都	1,520	695	2,032	1,307	1,938	1,428
	その他						
一般財源		86,592	79,253	71,086	81,464	88,717	94,364
執行率(%)		97.4%	92.1%	91.8%	97.6%	98.2%	100.0%
B.人コスト			3,495	3,529	3,518	3,272	
総事業決算額(A+B)		88,112	83,443	76,647	86,289	93,927	
予算書P(令和5年度)	p144-6	執行実績報告書P(令和4年度)			p80-6,7		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費、印刷製本費	28	需用費	消耗品費、印刷製本費	556	需用費	消耗品費、印刷製本費	44
役務費	通信運搬料、入浴証交付事務委託	307	役務費	通信運搬料、入浴証交付事務委託	4,399	役務費	通信運搬料、入浴証交付事務委託	439
委託料	にこにこ入浴デー実施委託、湯処・語り亭委託	82,437	委託料	にこにこ入浴デー実施委託、湯処・語り亭委託	85,701	委託料	にこにこ入浴デー実施委託、湯処・語り亭委託	95,309

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	にこにこ入浴実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,926	R7	目 標	1,400	1,800	1,951	2,000
				実 績	1,407	1,811	1,957	1,859
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	2,000	1,926	1,926	1,926	1,926	1,926	
	実 績	1,482	1,770	1,769				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者のふれあいの機会創出につながるため。なお、平成29年度は年度途中で浴場数に変動があり、平成30年度は年度途中で休業した浴場があった。また、令和2年度は年度途中で廃業した浴場があったため目標値の修正を行っている。令和3年度及び令和4年度は、休業中の浴場があった。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	にこにこ入浴利用者延べ人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
286,200		R7	目 標	290,000	293,000	294,000	294,000	
			実 績	293,654	288,275	288,667	278,041	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	294,000	286,200	195,709	286,200	286,200	286,200		
実 績	195,454	216,944	213,957					
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者が増えれば、高齢者の閉じこもり防止、ふれあい交流につながるため。なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和3年度時点で4年度の目標値の再設定を行った。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	入浴証引換券発送数が約6万人強、無料入浴券引換人数が約1万人弱である。無料入浴の年間延利用者は例年約29万人前後であったが、令和元年度以降新型コロナウイルス感染症の影響で実績が減少している。本事業は多くの高齢者の閉じこもり防止、ふれあいにつながっていることから、今後も事業を見直しつつ引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
事業のスキーム等の見直しについて、浴場組合と協議を重ね、令和3年度に行った利用者アンケートの調査結果を踏まえつつ、利用者、浴場双方にとって、より良い事業となるよう見直しを検討していく。

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	いきいきプラザの管理運営費		6
目的	高齢者の健康増進及び生きがい創出並びに交流の促進を図るための事業を実施するとともに、活動の場を提供することにより、高齢者の福祉の増進を図る。		主管課・係(担当)
			高齢者福祉課相談係
			03-5608-6172
対象者	区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティア前号の高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体、に掲げるもののほか、指定管理者が特に認める者及び団体		
根拠法令 関連計画	いきいきプラザ条例、同条例施行規則 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 経過のとおり
事業内容	健康増進、生きがい創出等に関すること。 交流の促進に関すること。 情報の収集及び提供並びに相談に関すること。 いきいきプラザの利用に関すること。 ～ に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業		
経過	開始年度	平成16年	終了予定
	平成16年12月開設。 開設当時から指定管理者制度(1期:5年)が導入されており、指定管理者は、開設当時から3期目(平成30年3月31日)までNPO法人ワークスコープ、第4期(平成30年4月1日から令和5年3月31日まで)から社会福祉法人カメリア会、第5期(令和5年4月1日から令和10年3月31日まで)から社会福祉法人奉優会となっている。		
議会質問 の状況	[平成29年第4回定例会] 指定管理者の変更に伴う、今後の職員体制や施設運営について [平成30年第2回定例会] 指定管理者の変更について [令和4年11月議会] 指定管理者の変更について		
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		45,876	49,219	51,212	47,787	50,276	59,663
A.決算額(令和5年度は見込み)		45,869	47,481	47,603	46,694	50,120	59,663
財源	国						
	都	22,106	22,328	26,666	16,685	17,247	15,574
	その他						
一般財源		23,763	25,153	20,937	30,009	32,873	44,089
執行率(%)		100.0%	96.5%	93.0%	97.7%	99.7%	100.0%
B.人コスト			1,748	1,764	1,759	1,636	
総事業決算額(A+B)		45,869	49,229	49,367	48,453	51,756	
予算書P(令和5年度)	p145-15	執行実績報告書P(令和4年度)			p81-14		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	指定管理料	45,102	委託料	指定管理料	45,449	委託料	指定管理料	57,988
使用料及び賃借料	備品借上げ	1,592	使用料及び賃借料	備品借上げ	1,592	使用料及び賃借料	備品借上げ	1,665
工事請負費	緊急対応等	0	工事請負費	緊急対応等	1,076	工事請負費	緊急対応等	0
備品購入費	備品購入	0	備品購入費	備品購入	2,005	備品購入費	備品購入	0

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	モニタリング実施率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	R7	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	モニタリング実施率が100%であることが、区として「指定業務が適切かつ効率的に実施されているかどうか」を確認できていることとなる。ひいては、利用者に適切な各種サービスを提供できていることになるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	年間延べ利用者人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		70,000	R7	目標	60,000	65,000	65,000	65,000
				実績	65,700	65,948	57,668	49,502
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
	実績	23,034	22,792	35,351				
指標の選定理由及び目標値の理由								
一人でも多くの利用があれば、それだけ高齢者にとって有意義な施設となり、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。目標値は、基準年の実績値から利用者数が徐々に増加するよう設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、施設閉館や利用自粛等による利用者の大幅な減少があったが、今後も感染防止対策を行ったうえ事業を継続していく。

課題・問題点
高齢者が更に増加することに伴い、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。今後も利用者のニーズに適切に対応した事業を実施していけるような体制を整える必要がある。

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位		
事業名	高齢者福祉センター運営経費		7		
目的	高齢者に対して健康の増進と教養の向上のため各種サービスを提供することにより、高齢者の福祉の充実を図る。		主管課・係（担当）		
			高齢者福祉課相談係		
			03-5608-6172		
対象者	区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティアの高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体 指定管理者が特に認める者及び団体				
根拠法令 関連計画	・ 墨田区高齢者福祉保健センター条例、同施行規則 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	経過のとおり
事業内容	指定管理者が主催する体操や卓球などの健康の保持と増進に関する教室及び囲碁・将棋教室等の教養講座の実施や、自主サークルの活動を行う場所の提供を行うことで、高齢者の福祉の充実を図る。				
経過	開始年度	平成6年		終了予定	
	立花ゆうゆう館 平成6年開設、平成18年度から指定管理者制度を導入した。 指定管理者は、第1期（平成18年4月1日から平成21年3月31日まで）墨田区社会福祉事業団、 第2期から第4期（平成21年4月1日から令和4年3月31日まで）はNPO法人てーねん・どすこい倶楽部、第5期（令和4年度から令和9年3月31日まで）は社会福祉法人奉優会である。 梅若ゆうゆう館 平成12年4月に開設、平成18年度から指定管理者制度を導入した。 平成18年度から、指定管理者は墨田区社会福祉事業団であり、現在4期目である（令和8年3月31日まで）。				
議会質問 の状況	[平成28年2定] 元気高齢者施設の増設について [平成29年予算特別委員会] 稼働率について [平成30年予算特別委員会] 医療連携、自主事業について				
その他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		76,727	89,221	80,257	75,338	78,317	171,169
A.決算額（令和5年度は見込み）		74,363	81,582	78,691	72,418	74,068	171,169
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	8,577	24,393	23,278	22,801	21,109
	その他						
一般財源		74,363	73,005	54,298	49,140	51,267	150,060
執行率（％）		96.9%	91.4%	98.0%	96.1%	94.6%	100.0%
B.人コスト			3,495	3,529	9,675	8,997	
総事業決算額（A+B）		74,363	85,077	82,220	82,093	83,065	
予算書P（令和5年度）	p145-14	執行実績報告書P（令和4年度）			p81-13		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	電気料金	718	需用費	電気料金	1,009	需用費	電気料金	1,399
委託料	指定管理料	57,671	委託料	指定管理料	58,864	委託料	指定管理料	61,565
使用料及び賃借料	備品借上げ	13,962	使用料及び賃借料	備品借上げ	14,196	使用料及び賃借料	備品借上げ	14,197
工事請負費	緊急対応等	0	工事請負費	緊急対応等	0	工事請負費	大規模改修	93,618
備品購入費	備品購入	0	備品購入費	備品購入	0	備品購入費	備品購入	390
補償補填及び賠償	損失補填	69	補償補填及び賠償	損失補填	454	補償補填及び賠償	損失補填	0

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	モニタリング実施率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	R7	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	モニタリング実施率が100%であることが、区として「指定業務が適切かつ効率的に実施されているかどうか」を確認できていることとなる。ひいては、利用者に適切な各種サービスを提供できていることになるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	年間延べ利用者人数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
103,000		R7	目標	101,400	100,000	101,000	102,000	
			実績	99,133	102,099	104,778	93,324	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		103,000	103,000	103,000	103,000	103,000	103,000	
	実績	26,067	31,104	45024				
指標の選定理由及び目標値の理由								
一人でも多くの利用があれば、それだけ高齢者にとって有意義な施設となり、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。目標値は、基準年の実績値から利用者が徐々に増加し、その後安定的に利用されている数値を設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、施設閉館や利用自粛等による利用者の大幅な減少があったが、今後も感染防止対策を行ったうえ事業を継続していく。

課題・問題点
高齢者が更に増加することに伴い、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。今後も利用者のニーズに適切に対応した事業を実施していけるような体制を整える必要がある。

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	セカンドステージ支援事業		8
目的	元気なシニア世代が、地域の中で培ってきた経験や特技を活かしながら生きがいをもって社会参加できる環境づくりを目的とする。		主管課・係(担当)
			高齢者福祉課支援係
			03-5608-6168
対象者	おおむね55歳以上の区民		
根拠法令 関連計画	・単年度決裁、シニアメールマガジン事業要綱、シニア人材バンク事業運営要綱 ・墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 常勤2、委託先:てねん・どすこい倶楽部
事業内容	セカンドステージセミナーの開催(年4回)、生きがい講座の開催(年6回)、シニア人材バンク運営、シニア向け情報誌の発行(毎月1回)、シニア向けメールマガジンの配信(毎月2回)。		
経過	開始年度	平成14年度	終了予定
	平成14年度 てねん・どすこい倶楽部発足 平成15年度 ボランティア事業開始(セミナー等) 平成19年度 てねん・どすこい倶楽部がNPO法人化		
議会質問 の状況	[平成27年予算特別委員会] 地域活動の意欲を持ったシニア世代の活用について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度及び令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、セカンドステージセミナー及び生きがい講座の開催を一部中止した。		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		2,915	2,915	2,915	2,911	2,903	2,903
A.決算額(令和5年度は見込み)		2,850	2,832	2,386	2,717	2,863	2,903
財源	国						
	都	1,457	1,457	1,457	1,456	1,452	1,452
	その他						
一般財源		1,393	1,375	929	1,261	1,411	1,451
執行率(%)		97.8%	97.2%	81.9%	93.3%	98.6%	100.0%
B.人コスト			3,495	3,529	3,518	1,636	
総事業決算額(A+B)		2,850	6,327	5,915	6,235	4,499	
予算書P(令和5年度)	p144-5	執行実績報告書P(令和4年度)			p80-5		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費	59	需用費	消耗品費	13	需用費	消耗品費	53
委託料	セカンドステージ支援事業	2,658	委託料	セカンドステージ支援事業	2,850	委託料	セカンドステージ支援事業	2,850

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	セカンドステージセミナー及び生きがい講座参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,150	R7	目標	1,150	1,150	1,150	1,150
				実績	1,058	1,118	1,099	926
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150
		実績	215	431	809			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	セカンドステージセミナー、生きがい講座の参加者は、高齢者の交流や外出機会の創出につながる数値となるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	活動指標事業の参加者満足度				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
90		R7	目標	90	90	90	90	
			実績	87.1	89.9	88.7	91.7	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	90	90	90	90	90	90	
	実績	79.1	80.1	84.8				
指標の選定理由及び目標値の理由								
セカンドステージセミナー、生きがい講座の参加者アンケートの満足度を図ることにより、当該事業が高齢者の生きがいや社会参加の一助に資するかが測れるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	セミナーや講座については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標人数には及ばないものの、リピーターだけではなく、新たな元気高齢者を呼び込んでいる。今後も高齢者のニーズをとらえ、講座内容を多様なものにするなど工夫を重ねる。

課題・問題点
セミナーや講座に参加している高齢者自身の社会参加、生きがい創出につながっている事業ではあるが、人材バンク及びメールマガジンの登録者は横ばいである。社会参加をしたい高齢者をどのように地域活動へつなげていくかが課題である。

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する			部内優先順位
事業名	ふれあい給食事業助成				9
目的	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、その経費の一部を助成することにより、円滑な事業の運営を促す。 なお、ふれあい給食事業は、高齢者の孤独感解消や地域社会との交流、生きがいの創出を促す事業である。				主管課・係(担当)
					高齢者福祉課支援係
					03-5608-6168
対象者	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園				
根拠法令 関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 墨田区ふれあい給食事業助成金交付要綱 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画 				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、その経費の一部を助成する。助成の内訳は次のとおり。 【ふれあい給食実施】 食材料費200円/食、事務費3,500円/回 【生きがい教室】 運営費8,000円/回				
経過	開始年度	平成2年度		終了予定	
	平成2年度 事業開始 平成14年度 ふれあい給食事務費の一部(各園年間60千円)を廃止				
議会質問の状況					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 保育園児との交流事業としては墨田区のみ実施。サロン等で高齢者のみの会食事業は13区で実施。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		2,747	2,837	100	0	0	1,710
A.決算額(令和5年度は見込み)		2,292	1,710	13	0	0	1,710
財源	国						
	都	1,300	1,316	7	0	0	854
	その他						
一般財源		992	394	6	0	0	856
執行率(%)		83.4%	60.3%	13.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
B.人コスト			874	882	880	818	
総事業決算額(A+B)		2,292	2,584	895	880	818	
予算書P(令和5年度)	P144-13	執行実績報告書P(令和4年度)			-		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	0	負担金補助及び交付金	補助金	0	負担金補助及び交付金	補助金	1,710

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)		H29	H30	R1	
		233	R7	目標	182	175	184	195	
				実績	176	169	187	158	
				R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	183	5	100	200	223	233	
	実績	1	0	0					
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため。1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。								
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	参加延べ人数				単位	人	
最終目標値		目標年度	基準年(H28)		H29	H30	R1		
3,961		R7	目標	3,964	3,829	3,886	3,944		
			実績	3,643	3,514	3,508	2,745		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
目標		3,779	85	170	3,400	3,790	3,961		
実績	5	0	0						
指標の選定理由及び目標値の理由									
参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した高齢者数を表しているため。各園のふれあい給食定員数の合計を最終目標値として設定する。1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から事業を休止しているが、今後の感染状況を注視しながら再開時期を検討していく。

課題・問題点
本事業の成果を上げるため、実施園の拡大を検討する必要がある。 また、新型コロナウイルス感染状況を考慮した上で、本事業の再開時期については慎重に判断する必要がある。

補助金名	ふれあい給食事業助成		主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区ふれあい給食事業助成金交付要綱		高齢者福祉課支援係
補助概要	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、経費の一部を助成している。		03-5608-6168
目的	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対しその経費の一部を助成することにより、円滑な事業の運営を促す。		
対象	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園		
基準	区独自基準		
補助条件	助成を希望する私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園は、年度当初に助成金交付申請書と事業計画書を区長に提出し、事業年度終了後30日以内に、実績報告書と請求書を提出する。		
経過	開始年度	平成2年度	終了予定
	平成2年度 事業開始 平成14年度 ふれあい給食事務費の一部（各園年間60千円）を廃止		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		2,747	2,837	2,600	0	0	1,710
決算額（令和5年度は見込み）		2,292	1,710	13	0	0	1,710
財源	国						
	都	1,300	1,316	7	0	0	855
	その他						
一般財源		992	394	6	0	0	855
執行率（％）		83.4%	60.3%	0.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		233	R7	目 標	182	175	184	195
				実 績	176	169	187	158
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	183	5	100	200	223	233
		実 績	1	0	0			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため、1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	参加延べ人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3,961	R7	目 標	3,964	3,829	3,886	3,944
				実 績	3,643	3,514	3,508	2,745
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目 標		3,779	85	170	3,400	3,790	3,961	
実 績		5	0	0				
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した実際の高齢者数を表しているため、各園のふれあい給食定員数の合計を最終目標値として設定する。1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から事業を休止しているが、今後の感染状況を注視しながら再開時期を検討していく。</p>

課題・問題点
<p>本事業の成果を上げるため、実施園の拡大を検討する必要がある。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染状況を考慮した上で、本事業の再開時期については慎重に判断する必要がある。</p>

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	長寿者に対する祝金の贈呈事業費		10
目的	区内に居住している最高齢者並びに百歳、米寿及び喜寿の高齢者に対し長寿者祝金を贈呈し長寿を祝福することにより、生きがいを創出する。また、直接訪問し、状況を確認することにより福祉の増進を図る。		主管課・係(担当)
			高年齢福祉課支援係 03-5608-6168
対象者	最高齢者(男女1名ずつ)、満百歳、米寿(数え88歳)、喜寿(数え77歳)		
根拠法令 関連計画	・墨田区長寿者祝金贈呈事業実施要綱 ・墨田区高齢者福祉総合計画第8期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤3・民生委員
事業内容	・最高齢者(男女1名ずつ) 贈呈内容:50,000円及び最高齢認定証、花束の贈呈 ・百歳(満) 贈呈内容:25,000円及び賀寿状の贈呈 ・米寿(数え88歳) 贈呈内容:10,000円 ・喜寿(数え77歳) 贈呈内容:5,000円		
経過	開始年度	昭和33年度	終了予定
	昭和33年度 敬老金開始 昭和33年度 最高齢開始 昭和58年度 百歳開始 平成10年度 喜寿・米寿開始		
議会質問 の状況	[平成27年決算特別委員会] 現金ではなく、祝い品を贈呈することについて [平成29年予算特別委員会] 喜寿の祝い金額の増額について [令和3年予算特別委員会] 事業見直しの検討について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・R4年時点 23/23区で実施 ・R4年時点 実施内容(重複あり) 祝金 10区 商品券 14区 その他 12区		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		29,492	28,068	27,143	25,310	29,315	34,678
A.決算額(令和5年度は見込み)		27,149	27,352	26,693	24,679	27,163	34,678
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		27,149	27,352	26,693	24,679	27,163	34,678
執行率(%)		92.1%	97.4%	98.3%	97.5%	92.7%	100.0%
B.人コスト			3,495	3,529	3,518	3,272	
総事業決算額(A+B)		27,149	30,847	30,222	28,197	30,435	
予算書P(令和5年度)	p143-3	執行実績報告書P(令和4年度)			p79-3		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品・印刷費	224	需用費	消耗品・印刷費	136	需用費	消耗品・印刷費	358
役務費	郵送料	21	役務費	郵送料	103	役務費	郵送料	85
扶助費	祝金	24,435	扶助費	祝金	26,925	扶助費	祝金	34,235

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	みまもりだより発行部数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		25,600	R7	目標	26,400	26,400	26,400	26,400
				実績	26,400	26,100	26,600	26,600
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,600	25,600	25,600	25,600	25,600	25,600
	実績	25,600	23,259	23,265				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	贈呈の趣旨や方法をあらかじめ周知することにより、効率よく祝金を配布できるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	贈呈者数(最高齢者・百歳・米寿・喜寿)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4,365	R7	目標	3,808	4,040	4,054	4,022
				実績	3,780	3,936	3,988	3,945
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,482	3,425	3,443	4,406	4,395	4,365
実績	3,823	3,338	3,681					
指標の選定理由及び目標値の理由								
祝金の贈呈が高齢者の生きがい、励みとなるため。 なお、目標数は策定時での対象者数であるため、死亡、転出等により変動する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	本事業は区民からのニーズが高く、高齢者の長寿を目指すきっかけになっているが、近年平均寿命も延びており、今後は事業内容を見直しつつ引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
行財政改革実施計画に基づき今日性や必要性を十分に検証し、効果的かつ適正な見直しを実施する必要がある。

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する			部内優先順位
事業名	すこやか長寿夫婦表彰経費				11
目的	長年人生を共に過ごし、金婚を迎えた夫婦の長寿をたたえ、表彰することにより高齢者の模範や励みとする。				主管課・係(担当)
					高齢者福祉課・支援係
					03-5608-6168
対象者	継続して50年以上婚姻関係にあり、共に生活している夫婦				
根拠法令 関連計画	・ 墨田区すこやか長寿夫婦表彰事業実施要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先:一般社団法人 墨田区観光協会
事業内容	継続して50年以上婚姻関係にあり、共に生活している夫婦に対し、記念品を授与する。				
経過	開始年度	平成18年度		終了予定	
	平成18年度 事業開始 平成30年度 記念品を変更(クリスタル製の盾からすみだの銘品へ)				
議会質問 の状況	[平成29年予算特別委員会] 周知方法について [平成30年決算特別委員会] 贈呈方法について、事実婚の対応について				
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・ R4時点 2/23区で実施 ・ 豊島区で金婚祝いの事業を実施している。贈呈品は商品券(10,000円相当)。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		1,181	658	894	544	612	544
A.決算額(令和5年度は見込み)		1,076	494	635	488	612	544
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,076	494	635	488	612	544
執行率(%)		91.1%	75.1%	71.0%	89.7%	100.0%	100.0%
B.人コスト			1,748	2,647	1,759	1,636	
総事業決算額(A+B)		1,076	2,242	3,282	2,247	2,248	
予算書P(令和5年度)	p143-4	執行実績報告書P(令和4年度)			p80-4		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	すこやか長寿夫婦表彰	488	委託料	すこやか長寿夫婦表彰	612	委託料	すこやか長寿夫婦表彰	544

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	案内配布数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		26,400	R7	目標	80	26,400	26,400	26,400
				実績	100	23,987	23,843	23,856
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400
	実績	22,166	23,115	23,441				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	事業内容を広く周知することは高齢夫婦の励みの機会創出につながっているため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	表彰件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		340	R7	目標	130	130	150	130
				実績	130	213	338	143
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	130	190	235	280	325	340
実績	182	130	153					
指標の選定理由及び目標値の理由								
金婚を表彰することが高齢者の励みにつながっているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	高齢者の励みとなる表彰制度であり、区民から喜びの言葉も多い。一方、23区では当区を含め2区の実施である。記念品に「すみだの銘品」を使用しており、地域産業の支援にもつながっているが、他自治体の状況等も踏まえ、事業の必要性について検討を行う。

課題・問題点

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位		
事業名	長寿マッサージ事業		12		
目的	区内在住の高齢者に対して、マッサージの施術を行うことにより、高齢者の健康増進に寄与するとともに、閉じこもりの防止につなげる。		主管課・係(担当)		
			高齢者福祉課・支援係		
			03-5608-6168		
対象者	マッサージの施術を受けることができる60歳以上の区民				
根拠法令 関連計画	・ 単年度決裁 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画 第8期介護保険事業計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	<p>区内10か所の各長寿室等の利用者に対し、マッサージを施術する。 施術については、墨田区視覚障害者福祉協会の協力のもと有償ボランティアとして実施し、障害者の社会貢献の一端を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 回数:月2回 利用人数:1回4人 場所 みどりコミュニティセンター、横川三丁目集会所、京島会館、いきいきプラザ、社会福祉会館、八広地域プラザ、すみだ福祉保健センター、立花ゆうゆう館、梅若ゆうゆう館、杉山鍼灸治療所(10か所12床) 				
経過	開始年度	昭和53年度		終了予定	
	[昭和53年度] 事業開始				
議会質問の状況	[令和2年度決算特別委員会]対象者年齢の見直しについて				
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・ R4年時点 18/22区で実施 ・ 18区で高齢者を対象としたマッサージ事業を実施しているが、対象年齢や費用負担の有無など事業内容は各区で異なる。 ・ R2,3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を一定期間中止した。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		4,963	4,245	2,891	2,069	3,414	3,385
A.決算額(令和5年度は見込み)		4,761	3,745	1,515	1,565	3,239	3,385
財源	国	873	873	873	873	873	1,000
	都						
	その他						
一般財源		3,888	2,872	642	692	2,366	2,385
執行率(%)		95.9%	88.2%	52.4%	75.6%	94.9%	100.0%
B.人コスト			1,969	1,748	1,764	1,759	
総事業決算額(A+B)		4,761	5,714	3,263	3,329	4,998	
予算書P(令和5年度)	p144-9	執行実績報告書P(令和4年度)			p80-9		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	謝礼金	1,408	報償費	謝礼金	2,975	報償費	謝礼金	2,975
需用費	消耗品	93	需用費	消耗品	185	需用費	消耗品	306
役務費	布団乾燥・消毒	36	役務費	布団乾燥・消毒	63	役務費	布団乾燥・消毒	63
負担金補助及び交付金	団体損害保険	30	負担金補助及び交付金	団体損害保険	17	負担金補助及び交付金	団体損害保険	41

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		288	令和7年度	目標	456	445	445	370
				実績	456	454	440	344
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	384	384	144	288	288	288
	実績	121	136	288				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数は、高齢者の健康増進や外出機会の創出を知る指標となるため。実施施設(床数)の変動に伴い目標値を修正している。なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、4年度については、目標値の再設定を行った。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
1,152		令和7年度	目標	1,824	1,780	1,780	1,480	
			実績	1,799	1,795	1,736	1,356	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		1,536	1,536	576	1,152	1,152	1,152	
実績	443	514	1118					
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者数は、本事業が健康増進や閉じこもり防止に寄与した高齢者数を示す指標となるため。実施施設(床数)の変動に伴い目標値を修正している。なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、4年度については、目標値の再設定を行った。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	マッサージ施術により、高齢者の健康増進に寄与するとともに外出機会の創出につながっている。また、施術は墨田区視覚障害者福祉協会に依頼しており、障害者の社会貢献の一端を担う事業ともなっている。本事業を今後も継続して実施する。

課題・問題点

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する			部内優先順位
事業名	姉妹区提携交流ゲートボール大会経費				13
目的	ゲートボールを通して、墨田区・台東区両区の親善交流と健康増進を図り、高齢者の生活を生きがいのある、明るく、豊かなものとする。				主管課・係（担当）
					高齢者福祉課支援係
					03-5608-6168
対象者	墨田区、台東区に居住する概ね60歳以上の者で編成されたチーム				
根拠法令 関連計画	単年度決裁				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	毎年度1回、墨田区と台東区の高齢者が、ゲートボールの親善交流試合を行う。				
経過	開始年度	昭和57年度		終了予定	
	昭和52年 台東区と姉妹区提携 昭和57年 第1回姉妹区ゲートボール大会開催 令和4年 第41回姉妹区ゲートボール大会開催				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	令和2年度：〔コロナウイルス感染拡大防止により、中止〕 令和3年度：〔コロナウイルス感染拡大防止により、中止〕				

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		383	484	7	264	294	596
A.決算額（令和5年度は見込み）		268	422	5	5	179	596
財源	国						
	都		83			147	145
	その他		169				288
一般財源		268	170	5	5	32	163
執行率（％）		70.0%	87.2%	71.4%	1.9%	60.9%	100.0%
B.人コスト			888	1,764	1,759	1,636	
総事業決算額（A+B）		268	1,310	1,769	1,764	1,815	
予算書P（令和5年度）	p144-8	執行実績報告書P（令和4年度）			p80-8		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品購入	5	需用費	消耗品購入	0	報償費	謝礼	6
負担金補助及び交付金	台東区への支払	0	負担金補助及び交付金	台東区への支払	179	需用費	消耗品購入	211
						役務費	通信運搬料及び保険料	19
						委託料	会場設営委託・撤去委託	349
						使用料及び賃借料	会場使用料	11

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	大会の実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
	実績	0	0	1				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	年に1回以上、安定的に事業を実施することが両区の親善交流につながる。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	出場者の数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
100		R7	目標	140	140	140	140	
			実績	140	140	132	113	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		100	100	100	100	100	100	
実績	0	0	82					
指標の選定理由及び目標値の理由								
出場者数の把握が、高齢者の健康増進、生きがい創出の指標となるため。 なお、令和元年度の出場者数が減ったため、令和2年度から目標値140を100に修正した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は高齢者の健康増進と墨田台東両区の親善交流につながっているが、ゲートボール人口が減少しており、近年は出場者数・出場チームの確保が難しくなっていることから、その他のスポーツの導入など幅広く議論、検討していく。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度・3年度は事業を中止している。

課題・問題点